

赤ちゃん医学から生まれた

Aprica

アップリカ ベビーカー

karoon

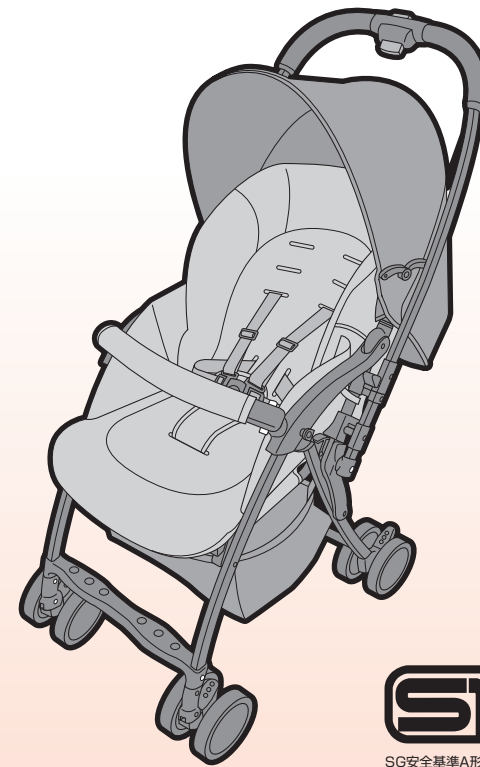
カルーン

取扱説明書／保証書

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この製品は生後1カ月～36カ月まで、体重15kg以下の乳幼児1人用ベビーカーです。

※ここでいう生後1カ月とは、在胎週数37週以上で、かつ出生時の体重が2.5kg以上を満たし、1カ月を経過した乳児をいう。



SG安全基準A形

ご使用前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

取扱説明書に記載されている以外の方法で使用しないでください。

製品の機能が充分発揮できないだけでなく大変危険です。

お読みになった後は、本書はいつも取り出せる場所に必ず保管してください。

目次

はじめに

| | |
|--------------|-----|
| ご使用前に | 1 |
| 保護者の方へのアドバイス | |
| SG基準について | |
| 本書の表示について | |
| ご使用上の注意 | 2～5 |
| 警告 | |
| 注意 | |
| 製品を取り出した時に | |
| 各部の名称 | 6 |
| 製品の特徴 | |

ベビーカーの使用法

| | |
|--------------|----|
| ベビーカーの開き方 | 7 |
| ハンドルの切替え方 | 8 |
| ストッパーの使い方 | 8 |
| キャスターの使い方 | 9 |
| お子さまの乗せ方 | 10 |
| 肩ベルトの高さ調節 | 12 |
| リクライニングの角度調節 | 13 |
| 日除けの使い方 | 14 |
| 足のせサポートの使い方 | 14 |
| カゴの使い方 | 14 |
| ベビーカーの折りたたみ方 | 15 |

縫製品の取り外し方法

| | |
|------------------|----|
| 日除けの取り外し方 | 16 |
| フロントガードカバーの取り外し方 | 16 |
| カゴの取り外し方 | 16 |
| シートの取り外し方 | 17 |

その他

| | |
|-----------------|----|
| 日常のお手入れ | 18 |
| 困った時 | 19 |
| 保管について | 20 |
| 廃棄について | 20 |
| SGマーク制度について | 20 |
| 保証とアフターサービスについて | 21 |
| 保証書 | 22 |

アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

〒542-0082 大阪市中央区島之内1-13-13

お客様サポートセンター TEL 0120-415-814 携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155

ご使用前に

保護者の方へのアドバイス

赤ちゃんは、大人の縮小版ではありません。
特に新生児期を過ぎて首が座るまでの赤ちゃんは未熟です。

赤ちゃんのことをよく理解しベビーカーの使用は注意してください。

- ①常に赤ちゃんの様子に気を付け、連続使用は避けましょう。
- ②赤ちゃんに直射日光が当たらないように注意しましょう。
大人が感じるよりベビーカー内の温度は高くなります。
- ③騒音や浮遊粉塵の多い人込みは避けましょう。
- ④段差の通過は出来るだけ静かに、振動・衝撃のかかる道などは避けましょう。

SG基準について



・SGマークが表示されたベビーカーは、製品安全協会の規定で定められた、つぎのような基準を満たしています。（この製品は、SG安全基準A形合格品です。）


| | |
|------------|--|
| 適用範囲 | この乳母車は、一般家庭を対象として、乳幼児を乗せ、外気浴、買物などに使用する1人乗り用の乳母車です。 |
| 形式の分類 | A形 生後1カ月* を過ぎまだ首が座らない乳児から寝かせた姿勢で使用できる乳母車。 |
| 使用範囲 | 生後1カ月から36カ月まで |
| 望ましい連続使用時間 | 寝かせた姿勢：2時間以内 座らせた姿勢：1時間以内 |
| 背もたれ角度 | 150°以上 |
| 車輪の外径 | 115mm以上 |


* ここでいう生後1カ月とは、在胎週数37週以上で、かつ出生時の体重が2.5kg以上を満たし、1カ月を経過した乳児をいう。

本書の表示について

・「警告」、「注意」、「禁止」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

| 表示 | 表示の内容 |
|---|--|
|  警告 | 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。 |
|  注意 | 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。 |

| 禁止図記号 | 表示の意味 |
|---|---------------------------|
|  | 製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止しています。 |

| | |
|--|------------------------|
|  アドバイス | 製品の取り扱いで知っておくと便利な内容です。 |
|--|------------------------|

ご使用上の注意

・思わぬ事故につながるおそれがありますので、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。



警告

・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

お子さまが落ちけがをするおそれがあります。

肩ベルト、腰ベルト、股ベルトを締めずに使用しない。



お子さまから目を離さない。シートベルトを締めていても立ち上がり転倒や落下のおそれがあります。



ベビーカーの中でお子さまを立たせない。



坂道などでベビーカーが勝手に走行、転倒し、お子さまがけがをするおそれがあります。

ストッパー（左右共）をかけずにお子さまの乗せ降ろしをしない



お子さまを乗せた時には、ストッパーを過信しない。路面の状態、構造の機能上、耐久性などから、絶対的に動かないようにできるものではありません。



ストッパーをかけていても、お子さまを乗せたままベビーカーから離れない。



ベビーカーが転倒してお子さまが落ちけがをするおそれがあります。

二人のお子さまを同時に乗せたり、シート以外のところに乗せない。



バランスを崩したり、足下が見えなくて転倒する危険があります。

お子さまを乗せたままフロントガードを持つなどしてベビーカーを持ち上げない。



〈次ページに続く〉

警告 ・ 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

ベビーカーが転倒してお子さまが落ちけがをするおそれがあります。

カゴ以外のところに荷物を載せたり、ハンドルにつるしたりしない。また、ハンドルによりかかったり、過度の荷重をかけない。

階段やエスカレーターなど段差のあるところで使用しない。

ベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まれるおそれがあります。

お子さまを乗せる前に左右の開閉ロックが完全に下まで降りている事を確認する。

必ずセーフティロックをかけた上で使用する。

お子さまの首にベルトが巻き付き窒息するおそれがあります。

肩ベルトは必ず腰ベルトに差し込み、お子さまの体格に合わせて調節してください。

路面の影響により、ベビーカー内の温度が高くなりお子さまが体調を損なうおそれがあります。

気温が高い時や日差しが強い時は、長時間使用しない。

可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。

お子さまの近くで、ベビーカーを開閉しない。

ハンドルを切替える時は、お子さまの指や手足に注意してください。

警告 ・ 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。

フロントガードを取り付ける時お子さまの指や手足に注意してください。

ベビーカーが破損し、お子さまやご使用者さまがけがをするおそれがあります。

ハンドルに過度の荷重をかけない。

ベビーカーが破損し事故やけがにつながったり、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

- ◎弊社サービス員以外は分解・組立・改造をしない。
- ◎保護者が、ベビーカーに寄りかかったり、腰を掛けたりしない。
- ◎急激に力を加えたり、落下、投げ投げなどによる強い衝撃が加わった後に使用しない。
- ◎ネジやナットなどはずして使用しない。
- ◎荷物などの運搬のために使用しない。
- ◎お子さまの遊び道具として使用しない。
- ◎そのほか、お子さまを乗せる以外の目的で使用しない。

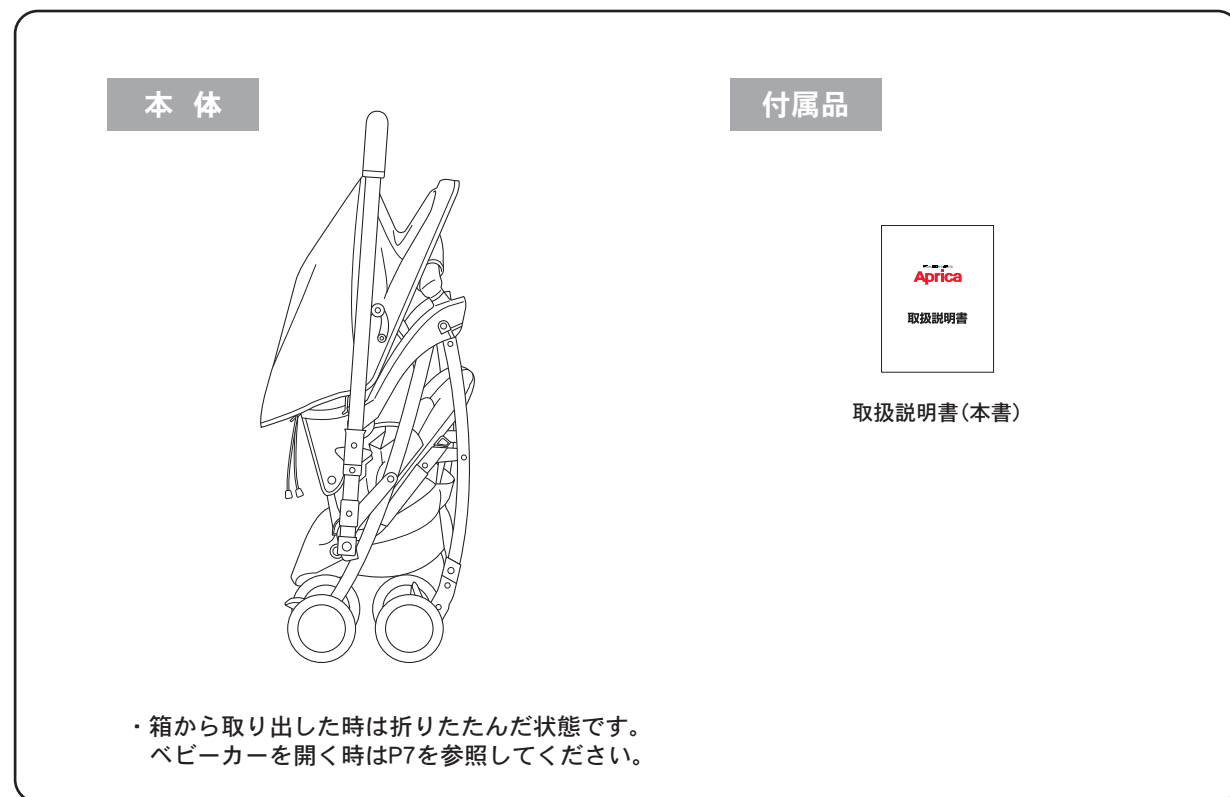
注意 ・ 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

- ◎必ず定期的に点検とメンテナンスを行ってください。
- ◎ご使用前に、ベビーカー本体、または幌、シートパッドが正しく取り付けられていることを確認してください。
- ◎可動部品には、適時注油するようにしてください。注油にはプラスチック用の潤滑油をご使用ください。
- ◎長期間ご使用されていなかったベビーカーを再度ご使用になる場合には、必ず点検とメンテナンスを行ってください。
- ◎取扱説明書を読まれていない方が、操作された場合に思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- ◎ベビーカーの操作に不慣れな方(例えば、祖父母)が使用する場合は、必ず操作方法を説明してから使用してください。
- ◎空車であっても、坂の途中や車道に近い歩道など、危険な場所にベビーカーを放置しない。
- ◎ネジやナットなどがゆるんだ状態で使用しない。
- ◎2台のベビーカーを連結して使用しない。
- ◎前輪を持ち上げた状態で走行しない。後フレームの曲りや折れの原因になります。
- ◎お子さまにベビーカーを操作させない。
- ◎ベビーカーにお子さまを乗せて走行するときは、お子さまのために普通の歩き方(時速約4キロメートル位の速さ)で押す。
- ◎路面の状態、構造・機能上、耐久性などから、ストッパーを過信しない。構造上、自動車のパーキングブレーキのような安全なものではありません。
- ◎フロントガードに股ベルトを通しての使用はしない。股ベルトがやぶれる原因になります。
- ◎ベビーカーを砂場や泥水のあるところで走行させない。可動部や回転部に砂などが入り開閉できなくなります。
- ◎フレームに砂や泥の汚れをつけたまま使用しない。スライド部に砂などが入り開閉できなくなります。
- ◎お子さまを乗せる時は、ベビーカーが転倒しないよう、お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せてください。

- ◎ベビーカー本体にはお子さまを乗せることを目的とした市販のボードなどは取り付けしないでください。破損の原因となります。
- ◎カゴの耐荷重は5kg未満です。
- ◎ハンドルに荷物などを掛けない。破損の原因となります。
- ◎踏切では、線路に車輪がとられないように注意する。
- ◎バスの中では使用しないでください。本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながります。
- ◎電車の中での使用について。本製品は電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車の中で使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、充分注意してご使用ください。
- ◎電車などのご利用時には、無理な乗り降りはいししない。ベビーカーが電車などの自動ドアにはさまれても感知されない場合があります。ケガをするおそれがあります。
- ◎雪が積もった所や、凍結した路面では使用しない。
- ◎風の強い時は使用しない。
- ◎雷の時は使用しない。
- ◎室内、火気の近く、高温になる場所ではレインカバーなどを使用しないでください。ベビーカー内部の温度が高くなりすぎるおそれがあります。
- ◎火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しない。プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。
- ◎ハンドルを『背面から対面』、『対面から背面』へ切替えた際は、ハンドルロックがサポートピンに確実に掛かっていることを確認してください。
- ◎そのほか、ベビーカーの故障の原因となるようなことはしない。

製品を取り出した時に

- ・製品を取り出した後は、部品が揃っているか、破損がないかを確認してください。
- ・欠品や破損の際は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P21参照)

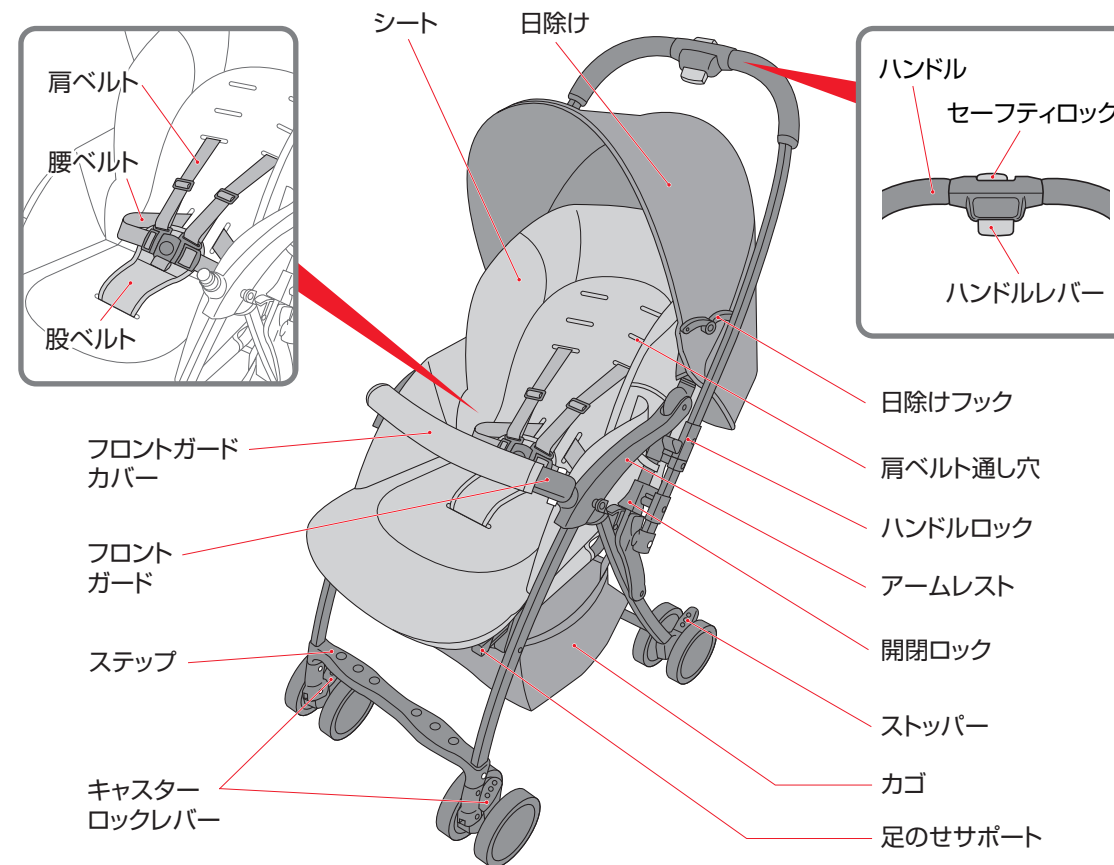


●ご使用前に、P22「保証書」に次の項目をご記入ください。

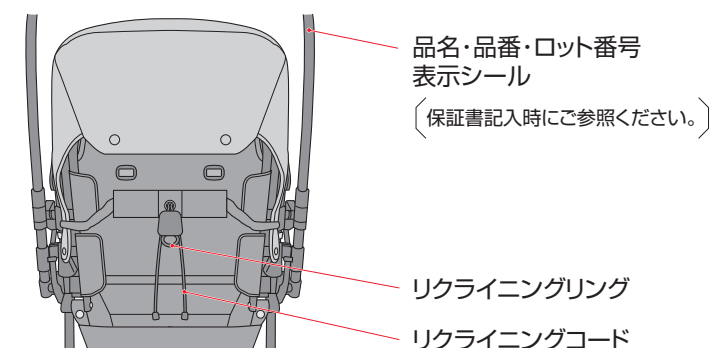
- ①品番、ロット番号 (P6「各部の名称」をご参照ください。)
- ②お買い上げ年月日
- ③お客様のお名前、住所、電話番号
- ④販売店名

●レシート (領収書) を本書と一緒に保管してください。(P21参照)

各部の名称



〈背もたれ背面〉



〈製品の特徴〉

- ・フレームには軽量なアルミパイプを使用しています。
- ・前後折りたたみ方式です。
- ・前輪キャスターには衝撃を吸収する機能が付いています。
- ・ハンドルは背面、対面式です。
- ・車体を折りたたんだ状態で自立します。

ベビーカーの開き方



警告
・お子さまが触れた状態ではベビーカーを開閉しない。
可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをすることがあります。

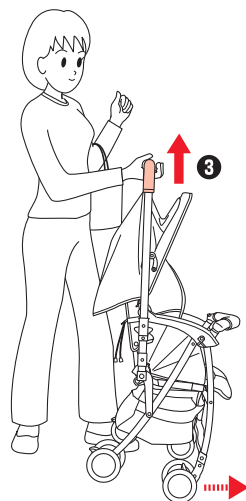
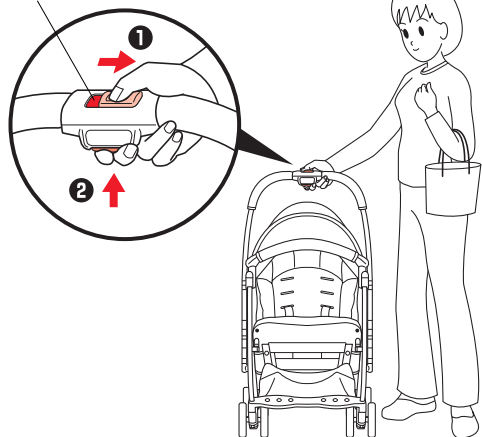


注意
・お子さまにベビーカーを操作させない。
転倒や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

お願い

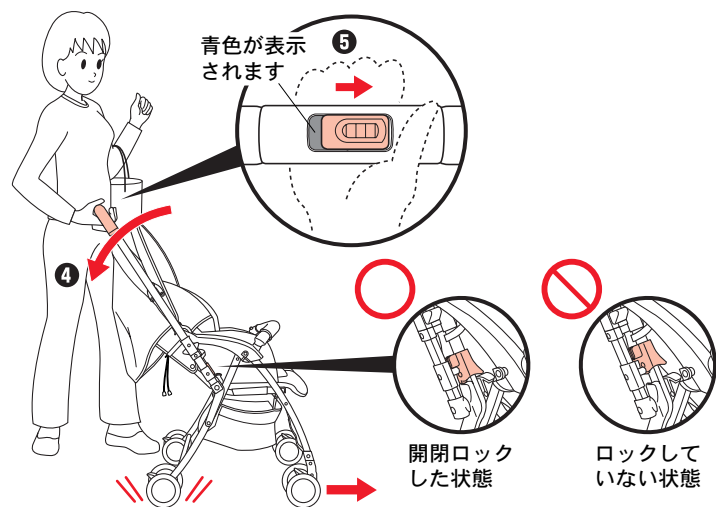
・梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。
2~3回繰り返して操作してください。

赤色が表示されます



〈ロックの解除〉

- ①セーフティロックをスライドさせた状態で、(赤色が表示されます。)
- ②ハンドルレバーを握って押し込み、ロックを解除する。



- ④そのままハンドルを手前に引いて開く。
- ⑤セーフティロックが戻り、(青色が表示されます。)開閉ロックがロックされていることを必ず確認する。

〈開く〉

- ③握ったまま、後輪が地面より離れるまで持ち上げる。



アドバイス
・片手で開きにくい場合は、もう一方の手でフロントガードを持って開いてください。

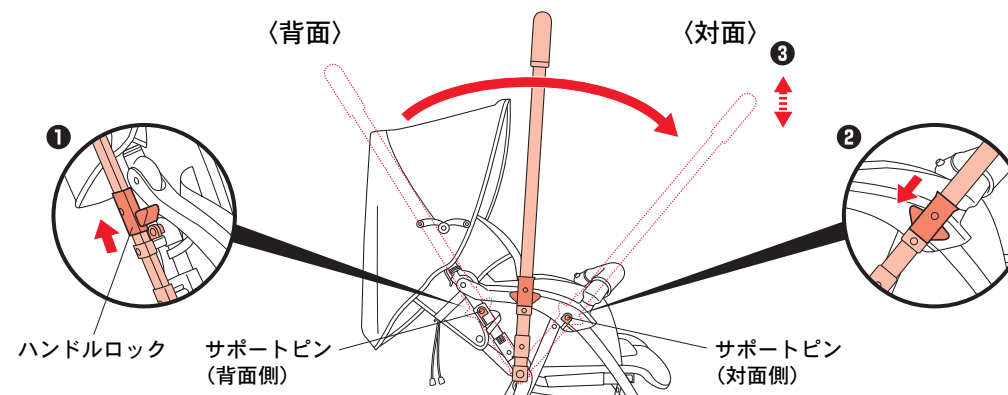
ハンドルの切替え方



警告
・可動部でお子さまやご使用者さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをなされないよう、ご注意ください。
誤った取扱いや不注意により思わぬ事故やけがをすることがあります。
・ハンドル切替えの際は、お子さまの手や指を挟まないように注意する。



注意
・走行中や坂道ではハンドルを切替えない。
・ハンドルが確実にロックされたか、使用前にハンドルを上下に動かし、必ず確認する。



- ①ハンドルロック(左右)を引き上げながら、ハンドルの向きを切替える。
- ②ハンドルロックをサポートピンにかける。(左右)
- ③ハンドルを上下に動かし、ロックされたことを確認する。



アドバイス
・対面状態では、段差を乗り越えにくい場合があります。その場合はステップに足をかけて前輪を浮かせたり、使用者が先に段差に上がるなどの方法で段差を乗り越えてください。

ストッパーの使い方

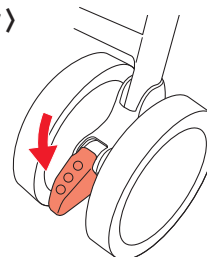


警告
・お子さまを乗せた時には、ストッパーを過信しない。路面の状態、構造の機能上、耐久性などから、絶対に動かないようにできるものではありません。
・ストッパーをかけていても、お子さまを乗せたままベビーカーから離れない。

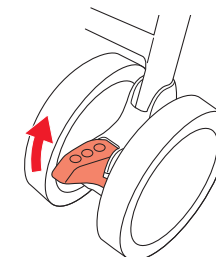


注意
・お子さまを乗せていない時でも、ベビーカーから離れる場合は、ストッパーを左右ロックします。

〈ロック〉



〈解除〉

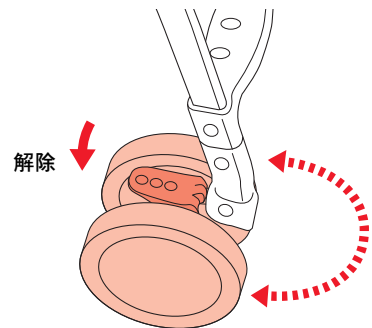


キャスターの使い方

〈キャスターを使用する場合〉



・凸凹道、坂道、傾斜地などでの走行には、キャスターを左右共ロックする。
キャスターの向きにより車輪が回転せず、ベビーカーが転倒したり、お子さまが落ちけがをするおそれがあります。



●キャスターロックレバー(左右)を下げ、ロックを解除する。



・路面の衝撃を吸収する新構造採用のため、前輪キャスターの弾性が強く感じられる場合がありますが、異常ではありません。
・キャスターを使用すると、平坦な路面では前輪の向きが変わり、方向転換がスムーズにできます。通常はこの状態でご使用ください。

〈キャスターを使用しない場合〉

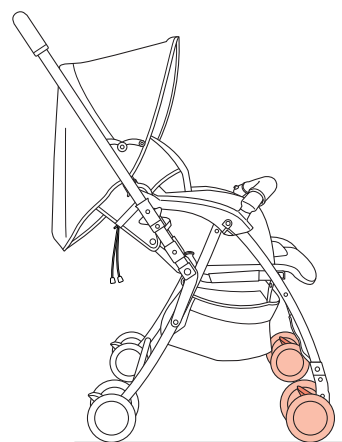


・キャスターをロックする位置は背面と対面では違います。キャスターロックレバーは、必ずベビーカーを押す人のほうに向けてロックする。
ロックする位置を間違えて使用すると、破損の原因となります。

●キャスターロックレバー(左右)を上げ、ロックする。

〈背面〉

進行方向



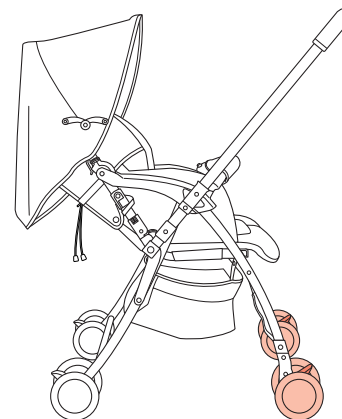
ロック

内向きにする



〈対面〉

進行方向



外向きにする

ロック



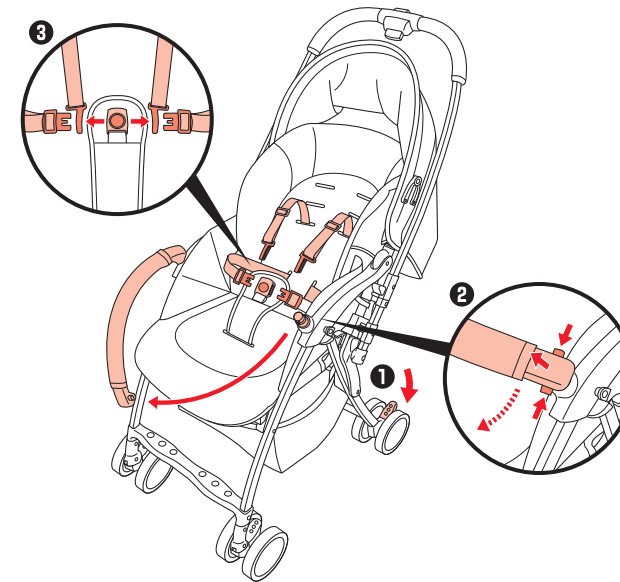
・路面の衝撃を吸収する新構造採用のため、前輪キャスターの弾性が強く感じられる場合がありますが、異常ではありません。
・キャスターをロックすると、前輪の向きが固定され、凸凹道、坂道、傾斜地などで押しやすくなります。

お子さまの乗せ方



・可動部でお子さまやご使用者さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをなされないよう、ご注意ください。
誤った取扱いや不注意により思わぬ事故やけがをするおそれがあります。

1 準備

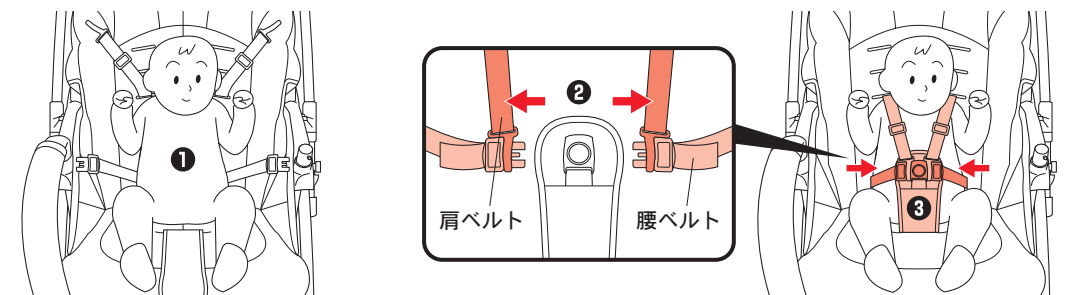


- ① ストッパーをロックする。(左右)
- ② フロントガードを開く。
・内外のロックボタンを押して開く。
- ③ 肩・腰ベルトを外す。
・股ベルトバックルを押して腰ベルト、肩ベルトを外す。

・リクライニングの角度を変える時は、P13「リクライニングの角度調節」を参照ください。
・足のせサポートを使用する時は、P14「足のせサポートの使い方」を参照ください。

2 乗せ方

〈お子さまを乗せて、肩・腰ベルトをとめる〉



- ① お子さまをベビーカーに乗せる。
- ② 肩ベルトを腰ベルトに差し込む。
- ③ 腰ベルトを股バックルに差し込む。

・肩ベルトの高さを変える時は、P12「肩ベルトの高さ調節」を参照ください。



・肩ベルトをフリーにさせない。肩ベルトは必ず腰ベルトに差し込んで使用してください。肩ベルトがお子さまの首に巻き付くおそれがあります。

お子さまの乗せ方（つづき）



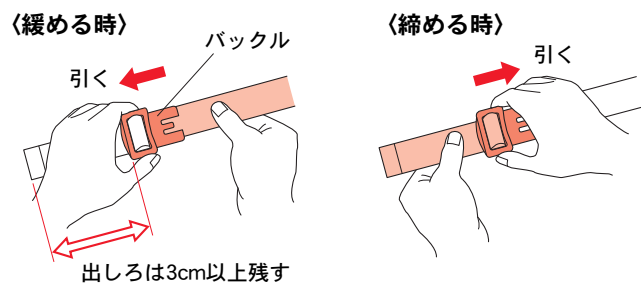
- ・肩、腰ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり転倒や落下のおそれがあります。肩、腰ベルトはお子さまの成長に合わせて調節してください。
- ・フロントガードを閉じる時にお子さまの指をつめないよう注意してください。



- ・腰ベルトの末端の出しろ（ \longleftrightarrow 部分）は必ず3cm以上残す。
- ・腰バックルは取り外しできません。
- ・リクライニングの角度を調節するたびに、肩ベルトを調節してください。
- ・フロントガードを閉じた時は、確実にロックされているか確認する。

3 ベルトの調節

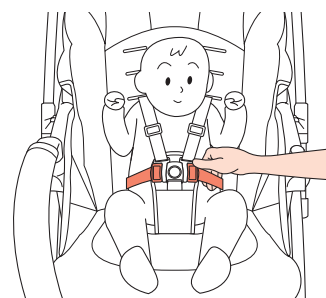
〈腰ベルトの調節〉



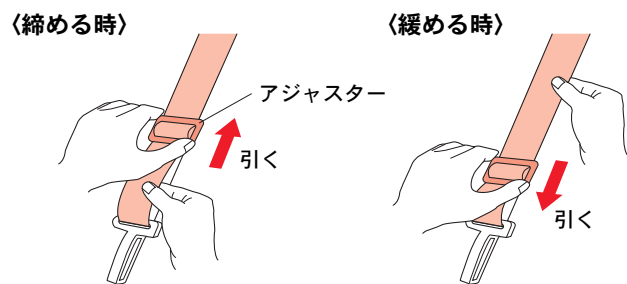
- 腰バックルを引き、長さを調節する。



- ・腰ベルトの長さは腰ベルトとお子さまの間に大人の指が4本入る程度が適当です。



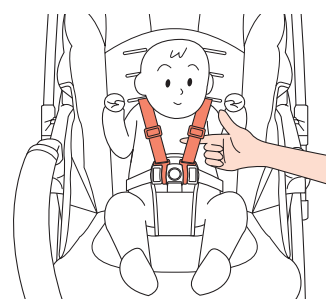
〈肩ベルトの調節〉



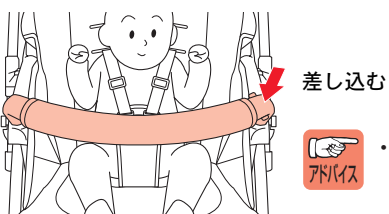
- アジャスターを引き、長さを調節する。



- ・肩ベルトの長さは肩ベルトとお子さまの間に大人の指が1本入る程度まで締める。

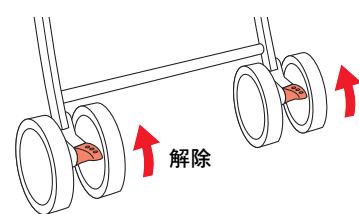


〈フロントガードを閉じる〉



- ・確実にロックされていることを確認してください。

〈ストッパーを解除する〉



肩ベルトの高さ調節



- ・肩ベルトをシートに取り付けた後、シート前方から肩ベルトを引っ張って抜けないか必ず確認してください。

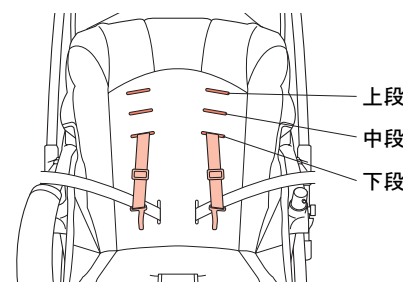


- ・お子さまの成長に合わせて肩ベルトの高さを調節してください。

- ・箱から取り出した状態では、下段にセットされています。

〈肩ベルト位置〉

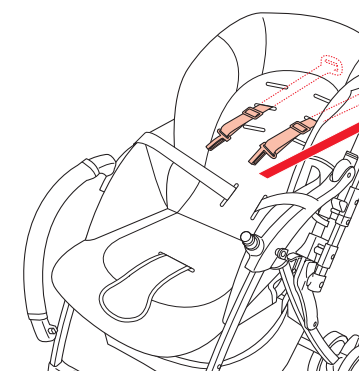
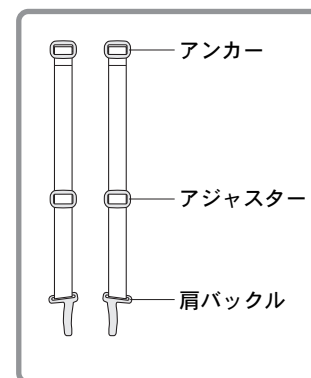
- ・肩ベルトの位置は3段階に調節できます。



| 月齢(体格)の目安 | 肩ベルト通し穴位置 |
|-----------|-----------|
| 18カ月～36カ月 | 上段 |
| 7カ月～18カ月 | 中段 |
| 1カ月～7カ月 | 下段 |



- ・肩ベルトがねじれていないか確認してください。

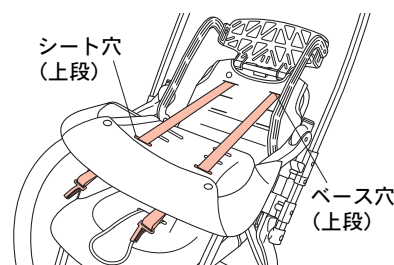


アンカーを
差し込む

- 肩ベルトの高さを調節する時は、ベビーカーの背もたれとシートの肩ベルト通し穴から、肩ベルトのアンカーを寝かせて抜き差します。(左右)

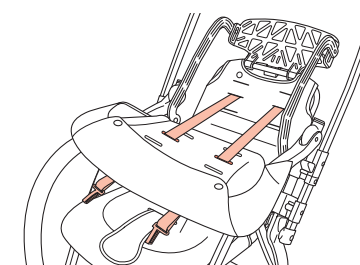
〈上段を使用する時〉

- シート穴(上段)とベース穴(上段)に通す。



〈中段を使用する時〉

- シート穴(中段)とベース穴(中段)に通す。



〈下段を使用する時〉

- シート穴(下段)とベース穴(下段)に通す。



リクライニングの角度調節



- ・お子さまを乗せた状態で背もたれを倒す時は肩ベルトをゆるめてから行う。
- ・リクライニングの調節後は、肩・腰ベルトの長さを調節する。



- ・ベビーカーを押しながらリクライニングの調節をしない。
- ・お子さまを乗せたままリクライニング調節する時は、急に角度が変わらないよう注意する。
- ・お子さまを乗せたまま背もたれを倒す時は、お子さまの体重を支える。
- ・ひとり座りができないお子さまは、背もたれを倒して使用する。

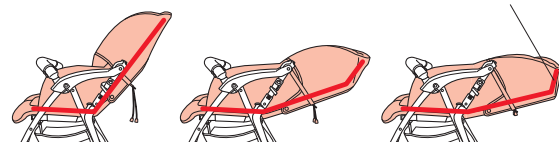
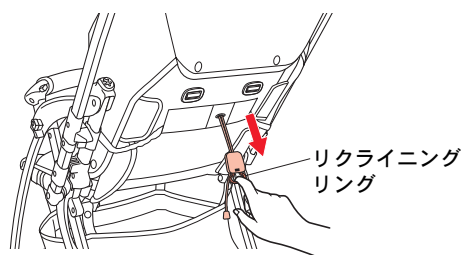
〈リクライニング位置の目安〉

| 月齢(体格)の目安 | リクライニングの位置 |
|---------------------|------------------|
| 1カ月～首がすわるまで | 一番倒した状態 |
| 首がすわってから、ひとり座りできるまで | 一番倒した状態～中間位置 |
| ひとり座りできてから | 一番倒した状態～一番起こした状態 |



- ・背もたれを一番倒した状態でシートが窮屈に感じる時は、お子さまがひとり座りできる場合に限り、背もたれを中間位置まで起こしてご使用ください。

背もたれを倒す時



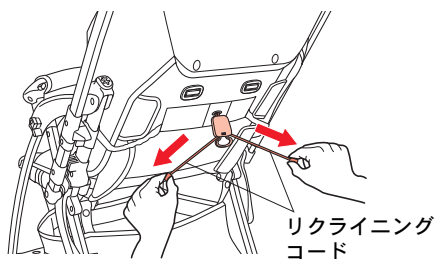
- ①片方の手でお子さまを支えて、リクライニングリングを引く。

- ②リングを引ながら背もたれを倒し、角度を調節する。



- ・ひとり座りができるお子さまでヘッドレストの位置に頭がくるときは、リクライニングを倒した時に無理な姿勢になりますので、ヘッドレストが起き上がらない位置まで起こしてください。

背もたれを起こす時



- お子さまの体重が背もたれにかかっていない状態で、リクライニングコードを左右に引く。



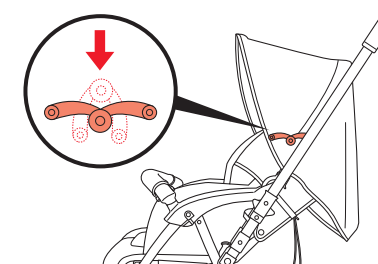
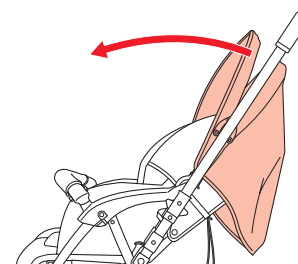
- ・お子さまの体重を背もたれにかけた状態では、起こすことができません。

日除けの使い方



- ・日除けを開いたり折りたたんだりする時は、お子さまの指や手に注意してください。指や手をはさんだりするおそれがあります。

開き方

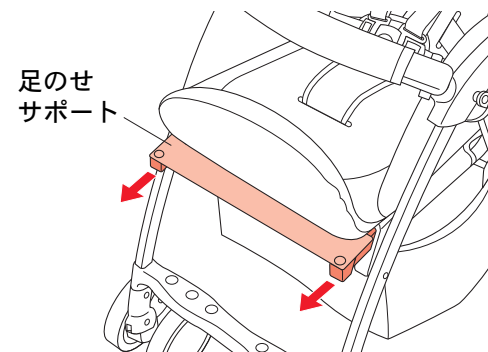


- ①日除けを前方に開く。

- ②日除けフックをロックする。(左右)

- ・閉じる時は、開き方の逆の手順を行ってください。

足のせサポートの使い方



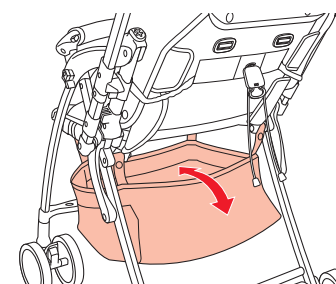
- ・足のせサポートは、お子さまが寝た時に楽な姿勢にできます。

- シート座部を持ち上げ、足のせサポートを引き出す。(左右)

カゴの使い方



- ・カゴには鋭利な形状をした物を入れない。カゴが損傷することがあります。
- ・重量5kg以上の荷物を入れない。



- ・カゴの上部から、荷物の出し入れをします。



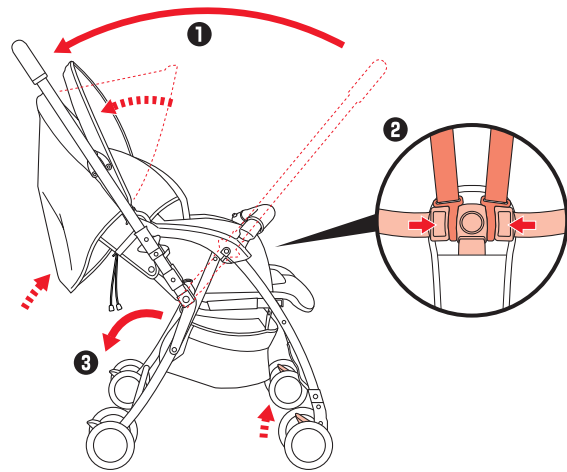
- ・荷物はできるだけカゴ底に均等に荷重が加わるように載せてください。

ベビーカーの折りたたみ方

警告 お子さまが触れた状態ではベビーカーを開閉しない。
可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。

注意 お子さまにベビーカーを操作させない。
転倒や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
ハンドルが対面のままベビーカーを折りたたもうとしない。
破損するおそれがあります。

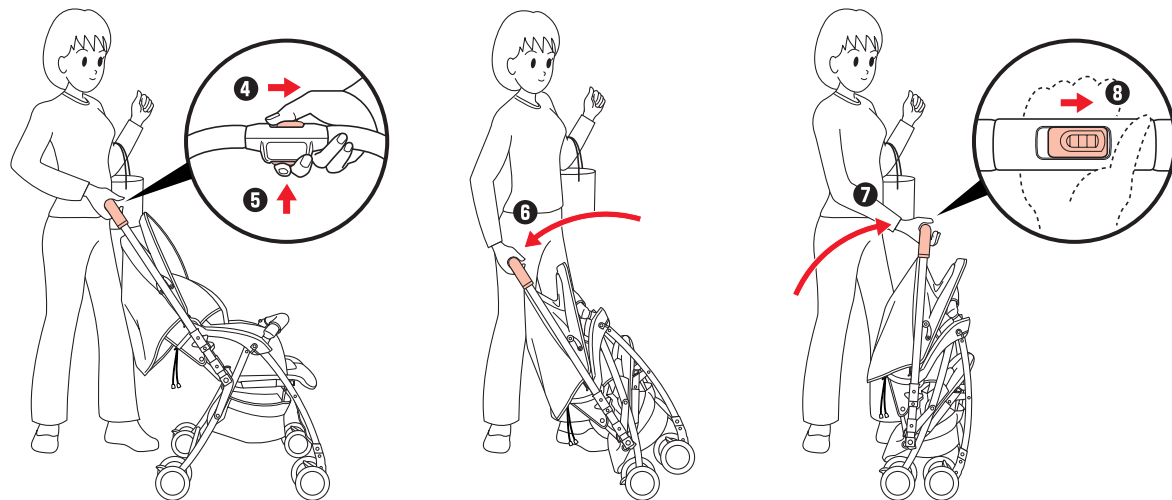
お願い 梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。
2~3回繰り返して操作してください。



〈折りたたむ前に〉

- ①ハンドルを背面に戻す。(P8参照)
- ②肩・腰ベルトを股バックルに差し込む。(P10参照)
- ③カゴから荷物を取り出す。

アドバイス 左右のキャスターを内向きにロックすると、自立時にベビーカーが安定します。(P9参照)
背もたれを起こし、日除けを閉じると、更にコンパクトに折りたためます。(P13~14参照)



〈ロックの解除〉

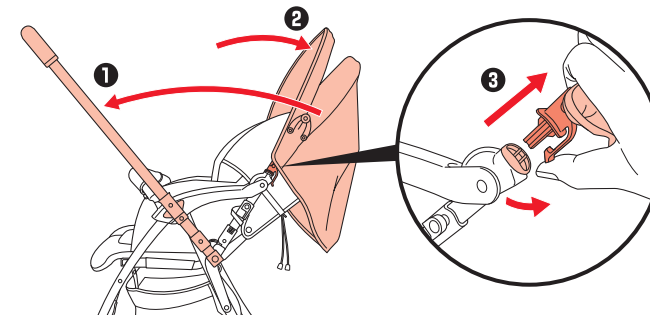
- ④セーフティロックをスライドさせた状態で、
- ⑤ハンドルレバーを握って押し込み、ロックを解除する。

〈折りたたむ〉

- ⑥握ったまま、車体を後ろに傾け、折りたたむ。
- ⑦車体を起こす。
- ⑧セーフティロックが戻り、ロックされていることを確認する。

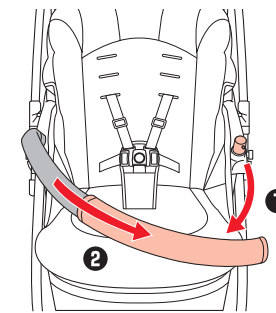
アドバイス 片手で折りたためない場合は、もう一方の手でフロントガードを持って折りたたんでください。

日除けの取り外し方



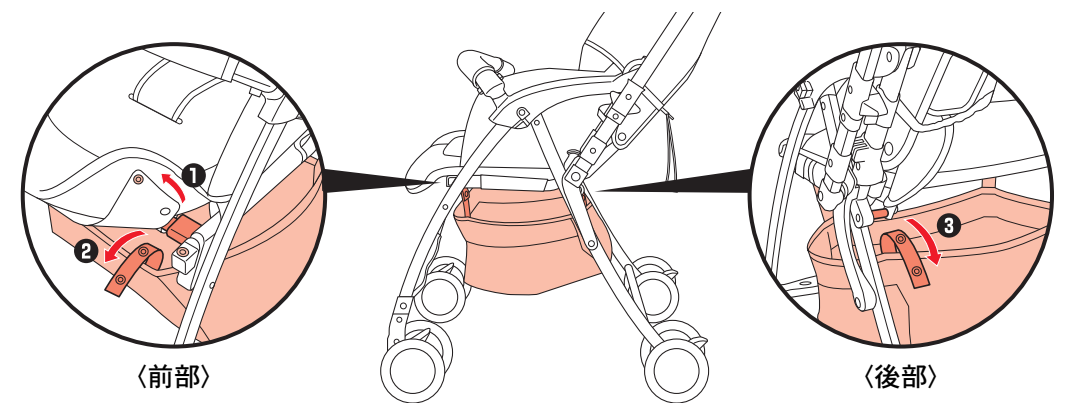
- ①ハンドルを対面に切替える。(P8参照)
- ②日除けを折りたたむ。(P14参照)
- ③ホロボケットの下側のツメを指先で手前に引き、ホロホルダーから引き抜く。(左右)

フロントガードカバーの取り外し方



- ①フロントガードを開く。
- ②フロントガードカバーを抜き取る。

カゴの取り外し方

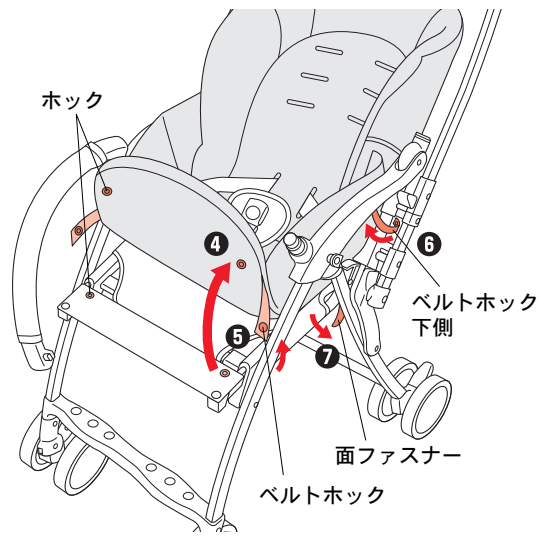
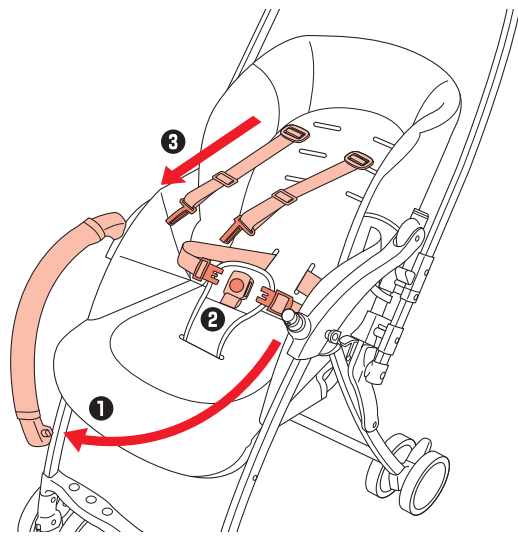


- ①足のせサポートのホック(左右)を外す。
- ②前部のホック(左右)を外す。
- ③後部のホック(左右)を外し、カゴを取り外す。

注意 カゴに荷物を入れたまま取り外さない。

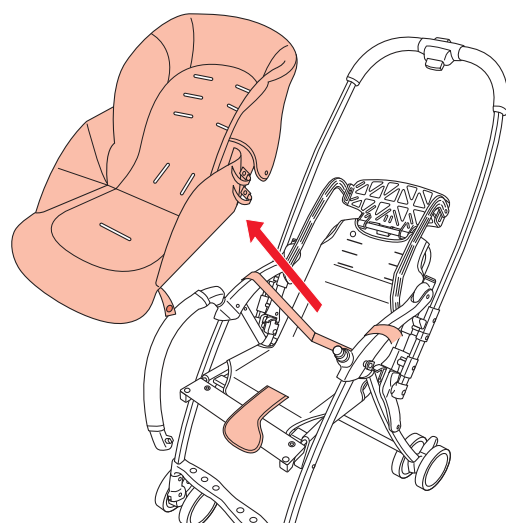
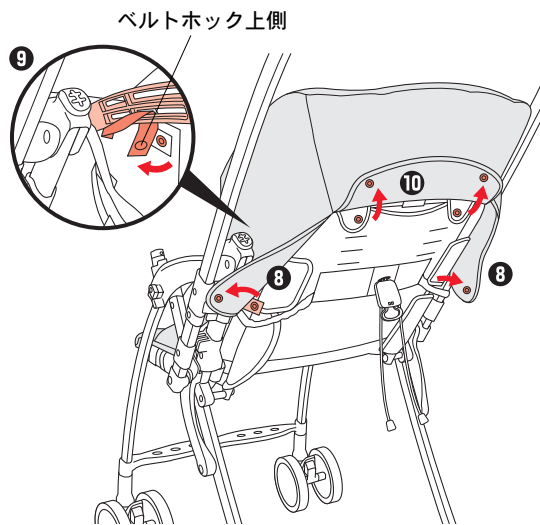
シートの取り外し方

・日除け、カゴを取り外してから行う。(P16参照)



- ①フロントガードを外す。
- ②バックルボタンを押し、肩・腰ベルトを外す。
- ③肩ベルトを抜き取る。

- ④シート座面裏側のフック(2カ所)を外す。
- ⑤シート座面裏側のベルトフック(2カ所)を外す。
- ⑥シート両側のベルトフック下側(2カ所)を外す。
- ⑦シート座面裏側の面ファスナー(2カ所)を外す。



- ⑧シート両側のフック(2カ所)を外す。
- ⑨ベルトフック上側(2カ所)を外し、抜き取る。
- ⑩背もたれ背面のフック(2カ所)を外す。

- ⑪股ベルトと腰ベルトを引き抜き、シートを取り外す。

・取り付けは逆の手順を行ってください。

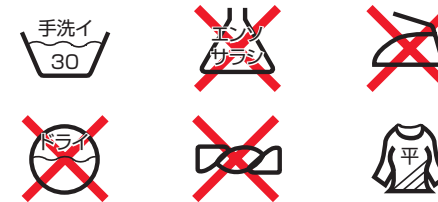
- ・縫製品が汚れた場合は、取り外して洗浄してください。
- ・縫製品は消耗品です。破れ、すり切れ、ほつれなどがある場合は、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせの上、交換してください。(有償)

日常のお手入れ

縫製品の洗浄方法

〈シート、フロントガードカバーの洗浄について〉

・以下の点に注意して洗濯してください。



注意 縫製品を屋外で干すときは、日陰の平干しにする。

〈日除け、肩ベルト、カゴの洗浄について〉

・丸洗わずに、以下の要領で洗浄してください。

- 水溶性の汚れ(果汁、ヨダレ、オシッコなど)の場合
40℃前後の湯にタオルを浸し、軽く絞って汚れた所を十分に洗います。その後、乾いたタオルなどで十分に水分を取って日陰で乾燥させます。
- 非水溶性の汚れ(牛乳、油脂、マヨネーズなど)の場合
中性洗剤を40℃前後の湯に溶かし、汚れた所をブラシまたはスポンジで軽く洗います。その後、冷水又は温水で中性洗剤を洗い流し、乾いたタオルなどで十分に水分を取って、日陰で乾燥させます。

〈合成皮革製品のお手入れ方法〉

- ・汚れは水または少量の中性洗剤を混ぜた水溶液を浸した布で拭きとってください。
- ・一般的に使用されているアルコール・ベンジンは使用しないでください。
- ・直射日光の当たる場所での放置は避けてください。また濡れた場合はすぐに乾いた布などで拭きとってください。
- ・保管は日の当たらない湿気の少ない場所をお願いします。
- ・ガムテープ・セロテープを貼りますと表面が剥離するおそれがありますので避けてください。
- ・使用状況にもよりますが、合成皮革の性質上、数年で湿気、水などにより劣化し、剥離やべとつきなどの傷み、変色などが徐々に発生しやすくなってきます。

注意 縫製品に破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、必ず弊社サービス員の点検、修理を受ける。

車体のお手入れ

〈フレームや車輪のお手入れについて〉

・フレームや車輪についた泥、ホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。

注意 フレームや車輪に泥やホコリが付いたままで使用しない。故障の原因となります。
・泥、ほこりなどの拭き取りには、シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤を使用しない。

・車輪は消耗品です。タイヤの厚みが5mm程度にまで減った時は、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせの上、交換してください。(有償)

〈ネジ・ナット類について〉

・ネジ、ナット類のゆるみがないか、時々点検の上、ゆるみが生じた場合はしめなおしてください。

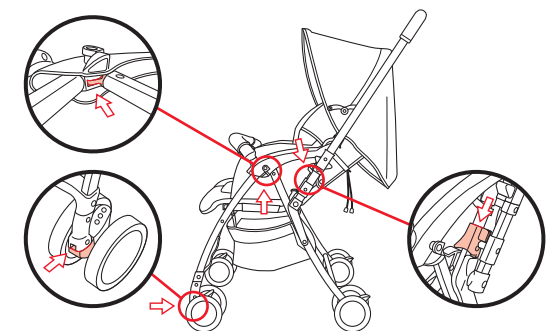
〈フロントガードについて〉

・フロントガード差し込み部についたホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。

〈注油について〉

・注油の前には、泥やほこりを落とし、十分に水分を拭き取ってください。
・注油は、1カ所につき2~3滴としてください。

注意 フロントガードとアームレストの接続部付近及び内部には、潤滑油などを付着させない。フロントガードが外れ、お子さまが危険になるおそれがあります。



●車体を折りたたんだり、開くのがスムーズにいかない場合や、キャスターがスムーズに回転しなかったり、車輪や車体がきしむ場合は、市販の潤滑油を図の⇒の箇所にし、開閉操作を2~3回行います。

困った時

- ・解決しない場合は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P21参照)

〈ご使用中に困った時〉

| お気づきの点 | 対処方法 |
|--------------------|---|
| 前輪キャスターが回転しない時は | キャスターのロックを左右共解除してください。(P9参照) |
| 前輪キャスターの回りが悪い時は | キャスターに潤滑油をさしてください。(P18参照) |
| ストッパーがきかない時は | ストッパー部に石などが挟まっていないか確認してください。 |
| リクライニングが起こせない時は | お子さまをベビーカーからおろして、リクライニングコードを引いてください。(P13参照) |
| 肩ベルトが腰ベルトに差し込めない時は | 衣類などの生地やシートベルトが挟まっていないか確認してください。 |
| ベビーカーが折りたためない時は | 〈折りたたむ前に〉〈ロックの解除〉を行ってから折りたたんでください。(P15参照) 開閉ロック部分にシートベルトが挟まっていないか確認してください。 |
| タイヤが消耗した時は | タイヤの厚みが5mm程度にまで減った時は交換が必要です。 弊社お客様サポートセンターに連絡してください。(P21参照) |

〈再利用する時〉

| お気づきの点 | 対処方法 |
|------------------------------|------------------------------|
| 前の使用者がどのような使い方をしていたのかわからない時は | 使用状態が不明な商品をご使用になるのはお勧めできません。 |
| ベビーカーにクラック(ひび割れ)や大きな傷がある時は | ご使用になれません。 |

保管について

- ・本体をポリ袋などに入れ、直射日光の当たらない、冷暗所に保管してください。
- ・夏季の高温になる場所での保管は避けてください。
- ・上に荷物を置いたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。



- ・日除けの変形を防ぐため、横向きに寝かせたり、上に荷物を置いたりしないでください。
また、高温になる場所での保管もおやめください。

廃棄について

- ・お住まいの各自治体の指示にしたがって処分してください。
- ・地球環境保護のため、指示された場所以外には放置しないでください。

SGマーク制度について



SGマークが表示されたベビーカーは安心してお使いいただけます。

SGマークが表示されたベビーカーは安心してお使いになれますが、消費者の皆さまが正常に使用していた時、製品の欠陥により万一事故が発生し、お子さまが損害を被った場合は、「製品安全協会」がその損害を賠償致します。**但しご購入後4年以内です。**

賠償についてのご注意

- ・認定したベビーカーそのものが故障したとしても、その品質について保証するというものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害について賠償する制度です。
- ・生産物賠償責任保険の保険金は、それぞれ実情をよく調査して、実損を補填する適切な額をお支払いすることになります。

賠償金の請求について

- ・傷害を被った消費者が賠償金を請求する時は、別欄の項目を事故が発生した日から60日以内に下記の協会または、協会が指定する処に届けてください。

製品安全協会 〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪2階
TEL 03-5808-3303

〈事故賠償に必要な項目〉

- ①事故の原因となったSGマーク表示の製品
イ) 製品の名前、SGマーク番号 ロ) 製品の購入先、購入年月
- ②事故発生の状況
イ) 事故発生年月日 ロ) 事故発生場所 ハ) 事故発生状況
- ③被害の状況
イ) 被害者の氏名、年令、性別、職業、住所 ロ) 被害の状況と程度(医師の証明書)

保証とアフターサービスについて

◎保証について

- ・保証期間中(お買い上げ日より1年間です。)に部品の欠品、不良加工など当社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。

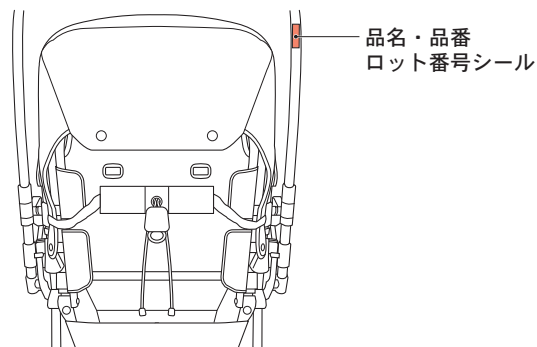
ただし、ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。(修理箇所の保証期間は1カ月です。)

また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。(部品の保有期間は、製造中止後3年間です。ただし、3年以内であっても部品の色、柄などについては、ご希望に添えない場合があります。)

◎アフターサービスについて

- ・ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、各部の固定部などにゆみやきしみ音があったり、部品の欠落、車輪の回転の円滑さに異常がある場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号(下図参照)をご確認のうえ、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。

- ・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、ハンドル背面側シールの品名・品番・ロット番号を必ずお伝えください。



お買い上げ時レシート 貼り付け位置

- ・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、ペビーカーお買い上げ時のレシート(領収書)を貼り付けてください。

アフターサービスについての連絡先

アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL **0120-415-814**

携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL **0570-004-155**

受付時間: AM10:00~PM5:00(土、日、祝日、弊社所定休日を除く)

.....
〈製品をお送りいただく場合の宛先〉

〒632-0221 奈良県奈良市都祁白石町1397-1
アップリカ 奈良サービスセンター ☎(0743)84-2050



〈お願い〉

- ・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
- ・製品の品質向上のため予告なしに一部仕様変更する場合がありますのであしからずご了承ください。